第 74 回全日本女子ホッケー選手権大会

12 月 14 日（土）15 日(日)に奈良県天理市親里ホッケー場にて「第 74 回全日本女子ホッケー選手権大会」準決勝、決勝が開催された。14 日(土)には、準決勝が行われ南都銀行 SHOOTING STARS と対戦した。試合開始から、両チームによる激しい攻防戦が繰り広げられたが、相手に先制され前半を 0－1 で折り返し、後半に入りなかなか得点できない中、試合終了残り 10 分加藤選手が相手の反則をさそい PC を取得、李選手のシュートを相手 GK が防いだが、西村選手が GK の動きを冷静に見ていてプッシュシュートを決め 1 対 1 と追いついた。追加点を狙うがチャンスを作れず後半終了。延長戦に突入するが決着がつかずシュートアウトへ。3 人目まで 1－1 と進み、4 人目の小野選手が強烈なヒットを打ち、ゴールを決め、相手 5 人目のシュートを吉川選手が止めた瞬間、6 年連続 6 度目の決勝進出を決めた。15 日(日)には、ソニーHC BRAVIA Ladies との決勝戦。開始から両チームとも激しい猛攻となる。相手チームに攻め込むが相手の堅い守りになかなか点を奪うことが出来ない。どちらも無得点のまま前半戦を折り返す。後半 45 分、相手に先制点を奪われてしまった。同点に追いつこうと攻めるがなかなか 1 点が奪えない。そのまま試合終了。全日本選手権を準優勝で終えた。悔しい結果とはなったが、ぜひこの悔しさを来年度の大会で晴らしてほしい。来シーズンの活躍に目が離せない。

Do スポーツ　ホッケー教室

12 月 4 日(水)に元宇品小学校にてホッケー教室を行いました。Do スポーツとは、広島市教育委員会のスポーツ振興を目的とした「Do スポーツ体育指導者招へい事業」です。
CCW レッドスパークスの大田選手、新井選手、錦織選手、菅原選手 4 名が、小学 5・6 年生男女 31 人に体育館で行える「スーパーホッケー」を体験してもらい、楽しみながら指導にあたっていました。CCW レッドスパークスは、今後もホッケー競技の普及、ホッケーを通じて地域社会貢献活動を行っていきます。

全日本実業団駅伝に向けて！

（山崎亮平選手）

平成 26 年 1 月 1 日に、第 58 回全日本実業団対抗駅伝競走大会が群馬県で行われる。この大会に出場する中国電力陸上部は、8 位入賞を目標に現在練習を行っている。11 月に行われた中国実業団駅伝（全日本駅伝予選会）では苦戦したが、12 月に入り石川選手、出岐選手が怪我の回復により合流。主力メンバーがまとまって練習を行うことでよい緊張感が出てきている。1、2 区で流れに乗ることが上位進出の鍵となるが、若いチームの爆発力に期待したい。

各チームの１推し選手を紹介します。

☆選手紹介コーナー☆

湧永レオリック
桑野　弘規

生年月日	１９８７年３月１０日
身　長	１７８㎝
血液型	Ａ型
出身地	富山県
ポジション	LW

担当者からのコメント

持ち前のスピードとシュートテクニックでこれからの湧永を背負って立つ選手のひとり！ドイツでのプレー経験もあるこれから期待される選手です！

南区安全・安心な まちづくりフェスティバル！

11 月 30 日(土)に南区にある広島県立広島産業会館で第 3 回南区安全・安心なまちづくりフェスティバルが行われた。
この日は、ＪＴサンダーズや広島ガスバドミントン部の選手らのトークショー、消防音楽隊や警察音楽隊の演奏、警察犬の訓練実演、自転車・自動車シミュレーター体験、相談コーナーなどの活動が行われた。
参加した広島ガスバドミントン部の井上静華選手は「今回、改めて安全・防犯について再確認するいい機会になりました。」とコメントした。この活動を通じて、市民の方の意識も高まったのではないだろうか。

ロゴマークの意味

広島県の木、広島県の花として県民になじみの深いモミジをモチーフにしました。「新緑のモミジ」はジュニアスポーツの育成を、「紅葉のモミジ」は選手が成長していく姿を表現しています。
ジュニア選手がトップを目標とすることを期待し、広島県のスポーツのジャンプアップを図ることを意味しています。

編集協力　安田女子大学心理学科　SWD ゼミ

トップスニュース

Vol.57
2013年12月25日

TOPS ひろしま

加盟団体
サンフレッチェ広島 / JTサンダーズ / ワクナガレオリック / 広島メイプルレッズ
広島ガスバドミントン部 / NTT西日本広島ソフトテニスクラブ / 中国電力陸上競技部 / コカ・コーラウエストレッドスパークス / 広島東洋カープ

トップス広島 事務局
〒733-0036
広島市西区観音新町4-10-2

TEL:082-233-3233
FAX:082-233-3251
URL:www.tops-h.net/

このQRコードから公式Webサイトへアクセスできます。

サンフレ、真の王者へ！！！

12 月 7 日(土)県立カシマサッカースタジアムで行われた、J1 最終節、対鹿島戦。この日は優勝の可能性があるだけに、アウェイにも関わらず約 3,000 人のサンフレサポーターがスタジアムに集結した。前半 35 分髙萩洋次郎選手からパスを受けた石原直樹選手は、鹿島ディフェンスの一瞬の隙をつき得点に結びつけた。先制点がものを言うだけに、この得点はサンフレッチェにとって非常に大きなものとなった。その後もサンフレッチェは自分たちのペースで試合を進め、1-0 で前半終了。ハーフタイム、森保一監督は「最後まで走りぬくことが勝利の条件だ」と選手を送り出した。後半 35 分、清水航平選手のアシストから石原選手が勝利を決定づける追加点。この 1 点のおかげで、選手たちはさらに落ち着いたプレーを見せ、最後の最後まで自分たちが今シーズン続けてきたサッカーを披露した。後半 46 分、野津田岳人選手に代わり、今シーズンでの引退を表明している中島浩司選手が出場。中島選手はサポーターの間では国王と呼ばれ、チームでは選手間の絆を繋ぐ役割を担い、誰からも慕われていた。そんな彼が最後のピッチに立ったこと、立たせることができたことは、サンフレッチェがチームとして一丸となっていたことの証だった。試合の終わりを告げる笛がスタジアムに鳴り響き、2-0 で勝利したが、スタジアム全体は静まりかえっていた。監督・選手・サポーターは等々力競技場、すなわち横浜 F・マリノスの試合結果を息を飲んで待っていた。数分後、横浜 F・マリノスの試合結果が場内に知らされ、サンフレッチェの連覇が確定した。選手たちの最後の最後まであきらめない強い気持ちと強い絆がもたらした、歓喜の瞬間である。監督は開幕当初、「選手一丸となって戦い、最後に自分たちが一番上にいればいい」という言葉を残していた。その言葉どおり、まさに一丸(はじめまる)は有終の美の航海を終え、J リーグの歴史に名を刻んだ。

サンフレッチェ広島、優勝おめでとう！！
そして、ありがとう！！

歓喜の渦に！サンフレ優勝報告会！

サンフレッチェ広島は、12 月 14 日(土)旧市民球場跡地にて優勝報告会を行った。逆転で連覇を成し遂げた選手たちは平和記念公園の原爆死没者慰霊碑に献花、黙とうしたのち、1 万 3 千人ものサポーターが集まる跡地へ向かった。報告会は終始和やかな雰囲気で行われ、森保一監督は「みなさんの応援のおかげでこの場に立っていられる。みなさんの笑顔を見ることができて幸せです。」とコメントした。また佐藤寿人選手は「優勝したぞー！！」と叫び連覇の喜びをめいっぱいあらわにした。佐藤選手がシャーレを掲げた瞬間、会場にはその日 1 番の歓声が上がり、サポーターのテンションも最高潮に達した。

チームにはもう 1 つ、天皇杯のタイトルが残っている。まずは 22 日(日)エディオンスタジアムでの甲府戦に勝利し、リーグとの 2 冠に挑戦してもらいたい。選手退場の際に沸き起こったサンフレッチェコールはサポーターと地域の人々の期待の大きさを表している。

2013/14V・プレミアリーグ開幕２連勝

12 月 7 日(土)、ついに 2013/14V・プレミアリーグが開幕した。ＪＴサンダーズは同日、広島県廿日市のスポーツセンターにてジェイテクト STINGS と試合を行った。今期からチームに加わった越川優選手のサービスエースやパイプ攻撃、主将國近公太選手の安定したサーブレシーブなどで流れを引き寄せ、セットカウント３－１で初戦を制し白星スタートとなった。
翌日 12 月 8 日(日)に行われたＦＣ東京戦では、ミスが目立ちなかなか流れを掴みきることが出来ず競り合いが続いた。しかし２セットを奪われるも、初戦と同様に越川優選手の活躍により流れを作り第５セットでは６連続得点を奪った。セットカウント３－２でＦＣ東京戦も制し、見事開幕２連勝を飾った。
次回は 12 月 21 日(土)大阪府で堺ブレイザーズと対決する。悲願の初優勝にむけ、今後も JT サンダーズのますますの活躍に期待したい。

日本ハンドボールリーグ

日本ハンドボールリーグ第 13 週目の試合が 11 月 30 日(土)に行われ、湧永レオリックは豊田合成と対戦した。相手の変化してくるディフェンスにも上手く対応し接戦の末 30－28 で勝利した。この試合に勝ち 4 連勝した湧永レオリックだったが、14 週目の 12 月 7 日に行われたトヨタ車体との試合では 20－23 で敗戦した。3 点を追いかける形で前半を終えたが、後半でディフェンスの動きが悪くなり、この悪い流れを断ち切ることができず課題が残る結果となった。湧永レオリックは現在 7 勝 1 分 4 敗で 4 位に付けている。
12 月 24 日(火)～12 月 28 日(土)には愛知県体育館で第 65 回全日本総合ハンドボール選手権大会が行われ、湧永レオリックは広島メイプルレッズと共に大会 3 日目 12 月 26 日(木)の準々決勝から出場する。選手の活躍と上位入賞に期待したい。
また２月１日に予定されていた、日本リーグ琉球コラソン戦がアジア選手権大会の関係で、12/22 に開催されたが 25-22 で敗れる結果となった。

夢にみたハンドボールのプロ選手

子どもたちの体育の時間にプロスポーツ選手がやってくる「Do スポーツ」が 12 月 3 日、吉島東小学校で行われた。体育の時間に少しだけはハンドボールを経験していた子どもたちはプロの選手が学校に来てくれると聞いて、前日からわくわくしていたようだ。選手たちの本物のハンドボールに感動し、一緒に汗を流す先生や選手にも自然と笑顔がこぼれていた。友達の試合を見ている子どもたちからは「がんばれ！」「早く僕もやりたいよ！」という声が聞こえていた。子どもたちにとって、ハンドボールだけでなく「スポーツの素晴らしさ」を感じる時間になったことだろう。

11/26～12/25　トップス広島　試合結果

NTT 西日本ソフトテニスクラブ
＜男子＞優勝
・1 日目　トヨタ自動車③-0　ヨネックス②-1
・2 日目　厚木市役所戦③-0　大鹿印刷戦③-0
　　川口市役所戦③-0
・3 日目　東邦ガス戦③-0　　京都市役所戦②-1
＜女子＞３位
・1 日目トヨタ自動車戦③-0
　　ワタキューセイモア戦③-0
・2 日目タカギセイコー戦②-1　ダンロップ戦②-1
　　ヨネックス戦③-1
・3 日目東芝姫路戦 1-②　ナガセケンコー戦 1-②

サンフレッチェ広島
▽J リーグ 2013
11/30 サンフレッチェ ○ 1-0 ● 湘南ベルマーレ
▽天皇杯
12/22 サンフレッチェ △ 1-1 △ヴァンフォーレ甲府

JT サンダーズ
12/7 JT サンダーズ ○ 3-1 ● ジェイテクト STINGS
12/8 JT サンダーズ ○ 3-2 ● FC 東京

《※広島で行われた試合のみを掲載しています。》

日本リーグ男子４連覇！！

11 月 22 日(金)から 24 日(日)に、実業団チーム最高峰の団体戦、第 31 回ソフトテニス日本リーグが広島県立総合体育館で開催され、３日間熱い戦いが繰り広げられた。男女 8 チームが出場し、1 日目は各チーム 2 対戦ずつで、男子は昨年上位だった 3 チームが 2 連勝でスタートした。
昨年度優勝の NTT 西日本広島は、男女共に安定の 2 連勝であった。2 日目は各チーム 3 試合が行われた。男女ともに、全勝で最終日を迎える結果だった。
最終日は、男子が 6 戦目、東邦ガスと対戦し NTT が圧勝した。最後の対戦も２－１で勝利し、7 戦全勝で 4 連覇を成し遂げた。
女子は東芝姫路とナガセケンコーと対戦し、最後の最後まで拮抗した試合だったが惜しくも敗戦し、3 位という結果だった。

（堀　晃大選手兼監督）

（大庭 彩加選手兼監督）

NTT 西日本広島男子新監督に 堀　晃大氏就任！！

12 月 11 日（水）に堀晃大主将が新監督に就任することを発表した。「日本国内はもちろん、世界で通用するチーム・選手を作る！」と今後の指導力に期待がかかる。

≪PROFILE≫
氏名　　：堀　晃大
生年月日：1983.8.29
出身地　：長崎県

カープの選手が小学校を訪問！！

１１月２８日に船越小学校、舟入小学校、千田小学校、己斐小学校、祇園小学校の広島市内５校の小学校にカープの選手が訪問した。堂林選手、廣瀬選手、赤松選手をはじめ、カープを率いる選手陣が小学生とのスポーツ交流を楽しんだ。選手たちは小学生にバッティングやキャッチボールのやり方やコツなどを選手同士の実践を交えながら生徒にわかりやすく教えた。また、ドッジボール対決や給食も一緒に食べ、シーズンオフならではの交流を行った。

小池・桜井ベスト１６

2 月 2 日（月）～12 月 8 日（日）の 7 日間に渡り、国立代々木競技場第二体育館で第 67 回全日本総合バドミントン選手権大会が開催された。3 日に、予選があり、小池、桜井ペアが出場し、日本ユニシスと対戦。小池・桜井ペアのダブルスは、第 1 ゲームは競って一歩届かなかったが、第 2・第 3 ゲームは勝利。同日に、混合ダブルスの予選もあり、小池選手が出場。1 ゲームは、取ったが惜しくも予選敗退。４日には、本戦 1 回戦があり、小池・桜井ペアが NTT 東日本と対戦。いつもの粘り強さで圧勝。混合タブルスに出場した桜井もストレート勝ちし、2 回戦出場を決めた。2 回戦に出場した小池・桜井ペアと小池の混合ダブルスは、粘りを見せたが惜しくも勝利には至らなかった。今大会の試合を振り返り、菊田監督は「随所にいいプレーもありましたが、課題の残る大会でした。日本リーグも残り 3 戦、チーム一丸となり戦い抜きます。」と意気込みを語った。

（スマッシュを決め、喜ぶ小池・桜井ペア）